

## 第 1 2 回艇庫移転会議議事録

1999年9月10日名大9号館地圏会議室

### 各大学の蒲郡移転の意向の調査

- ・名大、愛工、名院、南山、名城については蒲郡移転の意向を表明
- ・名大は平成12年度、南山は13年度の予算計上を予定
- ・各大学とも大学当局との折衝が必要
- ・海陽ヨットハーバーに近い土地に建設したい

### 蒲郡市の土地借用に関する条件の回答

- ・借用料  
200 m<sup>3</sup> あたり 540,000-, 学連一括契約時その半額  
参考値  
現鬼崎ハーバーは25万円程度
- ・排水設備は各大学で建設
- ・建設審査会審査費用 33,000-

### 各大学の移転に関する意見並びに質問

- ・蒲郡移転後の維持、管理費の見積もりがほしい。レスキュー係留料（海陽ヨットハーバー、17万円/年）の軽減は可能かどうかを調査してほしい。
- ・艇庫に関しては台風襲来を考慮して丈夫な建物にする必要があるのではないか。

### 今後のスケジュールの確認

- (1) 蒲郡の方へ照会（9月17日まで） 各大学へ回答（9月30日）
- (2) 各大学から移転の意思を受ける（10月20日）
- (3) 各大学の移転の意思を蒲郡へ連絡、同時に市長にお願いする  
（10月下旬 - 11月上旬）
- (4) 各大学から正式文書を蒲郡市へ送る（11月中旬）

蒲郡市から回答を得る（12月上旬） 各大学は常滑市へ建設の意思を通知

・(4) について蒲郡は、〈各大学〉 〈学連〉 〈蒲郡市〉 という形を望むと思われる。

- ・(1) について県港湾課にも照会の必要があるだろう。
- ・各大学の学生はOBとの連絡を密にして、できれば今後課題となる経済的な問題に対しても援助いただける様、協力をお願いできるような関係を作り上げることも必要ではないか。